

## 運動器 II

### 【Musculoskeletal System II】

担当責任者 教授（整形外科） 酒井 昭典

#### ねらい

1. ヒトと整形外科とのかかわりを理解する。
2. 整形外科に関する基礎知識を修得する。
3. 整形外科の診断・治療に対する考え方を修得する。
4. 整形外科の保存療法と手術療法の考え方を修得する。

#### 学修目標

1. ヒトの運動器の進化、発達、解剖、生理と病理について記述することができる。
2. 運動器の間・視・触診の診断手技、補助診断手技の基本的事項を述べることができる。
3. 運動器の治療手技、外傷処置の基本的事項を列挙することができる。
4. 運動器の日常的疾患について診断と治療の原則を述べることができる。

#### 事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

#### 成績評価方法・基準

1. 本試験
2. 100点満点で60点以上が合格

#### ○ 教科書

中村 利孝 他 編 「標準整形外科学 第13版」 2017年（医学書院）

#### ○ 参考書

酒井 昭典 他 編 「骨折の治療指針とリハビリテーション」 2017年（南江堂）、

酒井 昭典 編 「骨粗鬆症患者の骨折治療」 2014年（真興交易）、

Charles M.Court-Brown 他 編 「Rockwood and Green's Fractures 第8版」 2014年（Lippincott Williams & Wilkins）、

S. Terry Canale 他 編 「Campbell's Operative Orthopaedics 第12版」 2012年（Elsevier）

講義: 2201講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 ( 内 容 )	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
			スポーツ傷害と整形外科	D	4	(1)~(3)	内田 宗志(若松病院)
			スポーツ整形外科	〃	〃	〃	平沼 憲治(学外)
			関節リウマチとその外科的治療	〃	〃	〃	川崎 展
			高齢者の運動器疾患	〃	〃	〃	塚本 学
			脊椎疾患の診断と治療	〃	〃	〃	中村 英一郎
			脊椎の外傷	〃	〃	〃	山根 宏敏
			加齢に伴う腰椎疾患	〃	〃	〃	大石 陽介(学外)
			骨軟部腫瘍	〃	〃	〃	尾崎 敏文(学外)
			下肢の疾患、先天異常	〃	〃	〃	鈴木 仁士
			整形外科総論、検査・診断・治療	〃	〃	〃	酒井 昭典
			上肢の疾患	〃	〃	〃	山中 芳亮
			整形外科の基礎科学(骨・軟骨・筋・神経)	〃	〃	〃	酒井 昭典
			骨関節感染炎症性疾患	〃	〃	〃	田島 貴文
			整形外科外傷	〃	〃	〃	善家 雄吉